

安全保障理事会議長声明

「東ティモールにおける状況」と名付けられた議題に関する安保理の審議に関連して、2012年12月19日に開催された、安全保障理事会の第6892回会合において、安全保障理事会議長は、安保理を代表して以下の声明を發した。

国際連合東ティモール統合ミッション（UNMIT）が、2012年12月31日にその職務権限を完了するので、安全保障理事会は、過去10年以上東ティモールにより行われた注目すべき業績並びに重要な地域的および世界的な活動に対するその寄与を賞賛する。

安全保障理事会は、安定を保障することおよび民主主義を促進することにおける決定的な役割を果たす治安、司法および統治部門を含む、国家機関の組織的および人的資源能力を強化することにおいて東ティモールにより行われてきた重要な進展を歓迎する。

安全保障理事会は、東ティモールの民主的機関を定着させるのに役立った2012年の大統領と議会の選挙が成功したこともまた歓迎する。

安全保障理事会は、東ティモール国家警察（PNTL）の能力を強化するためのその活動を通じたものを含む、東ティモールにおける平和、安定および開発を促進することにおけるUNMITの重要な貢献を認識する。安全保障理事会は、事務総長特別代表の指導力のもと、同ミッションおよび国際連合国別現地チームの努力に対し安保理の感謝を表明する。

安全保障理事会は、政府および全ての東ティモール人とUNMITとの確固とした共同作業と協力関係のために政府および全ての東ティモール人を、また特に全ての者の利益に対する国の主体的取組の原則を強化しまた他の任務との合同共同作業の雛形として役立った共有移行過程の期間中を含む、同ミッション設立以来の、国際連合国別現地チームを賞賛する。

安全保障理事会は、国際連合が国の発展の新しい段階において重要なパートナーであり続けることを、

東ティモール政府が示してきたことに留意する。安全保障理事会は、東ティモール政府が、その平和構築で到達したものを維持し且つ強化することを、また持続可能な開発、法の支配および人権機関を強化することを促進するためにまた他の残っている課題に取り組むことを求めているので、東ティモール政府の取組を支援する事務総長と国際連合国別現地チームの現行の関与をそれ故歓迎する。

安全保障理事会は、東ティモールが、UNMIT 後に、その開発の新しい段階を始めるので、東ティモールに対する継続的支援の重要性を強調し、また東ティモール当局による要請があった場合には、これに関連して重要な役割を果たし続けるという国際連合および二国間や多国間協力者の意思に留意する。